

# 2023年度(令和5年度)学校評価自己評価表

神辺東中学校区	校番75	福山市立竹尋小学校
最終更新日		2023年(令和5年)10月31日

## I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

## II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員のやりがいと達成感が高く、児童を育てるにあたり大きな教育効果がある。</li> <li>学力に課題が見られる児童への改善方策を共有し、学力の定着を図っていく必要がある。</li> <li>学校の取組みの特色をより明確にし、子ども達の主体的な学びを期待する。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標を持ち、学校生活全般に渡り主体的に頑張ることができ、全体的な規範意識は高い。</li> <li>授業では共同的な学習に積極的に取り組んでいるが、意見の練り合いや合意形成、表現のスキル等が十分でない。また基礎学力の定着にも課題がある。</li> </ul>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>問題解決能力・コミュニケーション力・意思決定力</p> <p>自己を認識し、「なりたい自分」をめざし、自分の人生を選択し、自分らしく表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わくわく感をもって課題を探究し自分らしく表現する子どもの学びの創造</li> <li>「あいさつ」の大切さを実感し、家族や友達、教師や地域に向けて実践する力の育成</li> <li>「ふるさと学習」のSDGs・ICT活用による改善</li> <li>「家庭学習」で子ども主体の学びの推進のための発達段階に応じた取組の明確化と実践</li> <li>「体力向上」に向けた子ども主体の取組みの推進</li> </ul>
--	---	--	---

## III 自校

<p>ミッション</p> <p>「いつもニコニコピンピン明るく元気に」の「ニコピン精神」を反映させた教育活動の伝統を引き継ぎ、持続可能な社会の担い手として、郷土への誇りを持ち自立した児童を育てることで、地域・保護者から信頼される学校にする。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>☑問題解決力 ☑コミュニケーション力 ☑意思決定</p>
<p>学校教育目標</p> <p>自ら気づき、考え、行動する子どもの育成</p>	<p>問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの課題に粘り強く向き合い、より良い解決方法を考えて実行し、次の学習につなげることができる。</li> </ul>
<p>現 状</p> <p>&lt;児童&gt;</p> <p>○基本的な学びに向かう姿勢や学習習慣は少しずつ定着してきており、基礎学力も徐々に定着しつつある。</p> <p>●学年単学級で固定化された学級集団で生活しているため、自分の良さを発揮する機会が限られ、自分の思いや考えを豊かに表現する力が弱い。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>○教材分析により単元全体を見通し、つけたい力を明確にすることで、学習意欲を高める発問、児童の思考を促す等の授業づくりに取り組んでいる。</p> <p>●児童の豊かな発想による学びの深まりには課題があり、自分の思いや考えを自信を持って表現できる力をつける必要がある。</p>	<p>めざす子ども像</p> <p>☐</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の夢や目標を語り、多様な考えを受け入れながら、お互いを認め合い共に高まり合うことができる。</li> </ul> <p>意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら取り組もうとする意欲をもち、最良の状態を求めて、適切な行動を自分で決定することができる。</li> </ul>
	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>「わくわく感をもって、課題を探究し、自分らしく表現する児童の学びの創造」 ～ 児童が進んで考え、表現する主体的な学びづくり ～</p> <p>内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通して学び続ける問いの工夫や単元構想</li> <li>児童自ら課題を発見、解決方法を共有し、協働的、対話的に学びが進む授業づくり</li> </ul>
	<p>めざす授業の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人が明確な課題を持ち、自己の学びに関連付けや振り返る授業</li> <li>「課題発見・解決学習」の過程の中に、対話が位置づいた授業</li> <li>自己選択・決定場面を設定し、児童が主体的に学び、表現している授業</li> </ul>

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立竹尋小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	力也 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力也 評価	達成 評価
1	学びに向かい、学び続けたい教育活動を推進する。	★	新規	疑問から学びをつくる子ども主体の授業づくりの推進	<p>○児童が課題を設定したり、考えが深まったり広がったり学び続ける発問の工夫をする。</p> <p>○学年や教科を超えて、児童が様々な方法で自分の考えや思いを伝え合う活動や場を設定する。</p> <p>○個々の学力実態を把握し、個に応じた支援を行う。</p>	<p>○授業研究において課題設定や発問の工夫について検討し、効果的な実践であったか他者評価80%以上にする。</p> <p>○児童アンケート「感じたこと、考えたことを自分の言葉や方法で伝え合うことができる」肯定的評価80%以上にする。</p> <p>○国語科・算数科の学期末テストにおいて、40点未満の児童を10%未満にする。</p>	<p>○職員アンケート他者評価は80%であった。発問が少しずつ工夫されている。</p> <p>○児童アンケートの肯定的評価は86.5%であった。表現への意欲が高まってきている。</p> <p>○1学期末テストにおいて、40点未満の児童は、国語：2.4%算数：3.4%であった。</p>	<p>○教材研究の際に課題設定や発問を中心に話し合い、授業後に振り返りを行う。</p> <p>○自力解決や交流の場を十分に設け、自分の考えを表現したり伝えたりする活動を取り入れる。</p> <p>○家庭学習やぐんぐんタイムを活用して、漢字や計算などの基礎学力向上に努める。</p>					
4	自他を大切にし、地域への愛着・貢献する心を育てる。	★	継続	自他を認め合う態度の定着	<p>○縦割り班活動や委員会活、学校行事を通し異学年集団による活動を推進する。</p>	<p>○児童アンケート「他学年の良いところを知っている。」肯定的評価80%以上にする。</p>	<p>○児童アンケートの肯定的評価は、81.5%であった。異学年活動を継続していきたい。</p>	<p>○児童会活動で他学年との交流やレクリエーション活動を企画し行う。</p>					
			見直し	地域の課題を見つけ、解決に向けた取り組みの推進	<p>○地域や自然を教材として、地域に関する課題や疑問に気づき、できることを考え、解決に向けて実践する。</p>	<p>○児童アンケート「地域のために行動しようと思う。」肯定的評価80%以上にする。</p>	<p>○児童アンケートの肯定的評価は、89.9%であった。食物の栽培や行事参加を通して関心が見られる。</p>	<p>○生活科や総合的な学習の時間を通して、地域の良さを知り、地域のためにできることを委員会活動も関連付けて取り組む。</p>					

4	自らの目標に向かってよりよく生きる力の向上を図る。	見直し	主体的な体力づくりによる体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育科の授業の初めに、体力向上に関するサーキットを行う。</li> <li>○体力づくりコーナーを設置し、課題に応じた運動に児童主体で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力テストでの平均値を反復横跳び45回、立ち幅跳び140cm以上にする。</li> <li>○児童アンケート「運動が好き」肯定的評価90%以上、「進んで外遊びをした」肯定的評価80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○反復横跳び平均が45回、立ち幅跳び平均が134cmであった。</li> <li>○児童アンケートの肯定的評価は、「運動が好き」88.2%、「外遊び」71.4%であった。外遊びが少ない傾向である。</li> </ul>	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育の時間に体力テストの課題に応じた補強運動を行う。</li> <li>○委員会活動を通して、校内に運動コーナーを設置したり、全校レク等を推奨する取組を行った。</li> </ul>					
1	個性や能力が発揮できる学校組織をつくる。	★ 新規	自ら仕事内容を把握し、一人一人が目標を立て、実践する力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分掌業務を精選し、見直しをもち、時間を意識した働き方を行う。</li> <li>○個々が自分の専門性や強みを生かす目標設定を行い、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間外在校時間「年間360時間以内」の割合昨年度以上にする。</li> <li>○教職員アンケート「仕事のやりがいを感じている」教職員の割合昨年度以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の時間外在校時間45時間以内は全教職員守られている。</li> <li>○教職員アンケートの肯定的評価は100%であった。個々に目標をもって取り組んでいる。</li> </ul>	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の業務に優先順位を持たせ、事前の起案を心掛けることを組織で取り組んでいく。</li> <li>○主任・主事を中心として日々のOJTを継続し、行事等を通して成果・課題を共有する。</li> </ul>					

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。